AIで作る短編アニメ制作入門

本日のゴールと対象者

この授業で目指すことと、どのような方向けの内容かを説明

授業のゴール

- AIツールを使って、**60秒〜90秒程度のショートアニメを完成させる**
- AIで作る短編アニメ制作の流れ（全体像）を理解する

対象となる方

- アニメ制作やAIツールが**初めての方**
- 「絵が描けない」「動画編集が難しそう」と思っている方でも安心

01

1. 授業の導入と全体像

なぜ今、AIでアニメを作るのか？

簡単・早い！
絵や動画の専門技術がなくても、**AIが強力にサポート**してくれる

費用が安い！
多くのツールには**無料プラン**があり、手軽に始められる

「作りたい」をすぐ形に！
頭の中のイメージを**数分でアニメーション**にできる

アニメ制作の全体像：6つのステップ

この6つのステップを順番に進めることで、1本のアニメが完成します

1. 企画 (ストーリー)
2. 絵 (キャラ・背景)
3. 動画 (アニメーション)
4. 声 (セリフ)
5. 音楽・効果音 (BGM/SE)
6. 編集 (仕上げ)

02

2. 制作フローの具体的な説明

ステップ1: 企画（ストーリー作り）

物語の骨組みとなるアイデアや脚本を作成します

- **使用ツール**: **ChatGPT, Gemini**
- **役割**: アイデア出しから脚本化までを担当
- 「勇気をテーマにした物語」のような**曖昧な指示でもOK**
- 「90秒以内」と指示すれば、セリフの分量を**自動で調整**

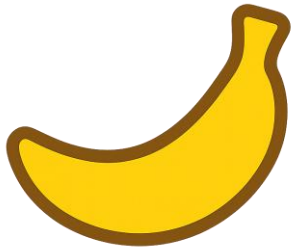




ステップ2: 絵（キャラクター・背景）

物語の世界観を視覚化するイラストを生成します

- **使用ツール**: **Animon**, nanobanana
- **役割**: 言葉（プロンプト）からキャラクターや背景のイラストを生成
- **ポイント**: 「男子高校生、黒髪、眼鏡」のように**具体的**な指示が効果的
- 抽象的すぎると意図と違う絵になることがあるので注意



ステップ3: 動画（アニメーション）

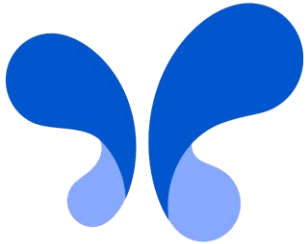
生成した静止画に動きを与えて、命を吹き込みます



- **使用ツール**: Animon
- **役割**: 静止画をアニメ風に動かす
- **ポイント**:「髪だけ動かす」「カメラをズーム」など**部分的な指定**で自然な動きに
- 動かす要素を絞るとクオリティが上がりやすい

ステップ4: 声（ナレーション・セリフ）

キャラクターに声を与え、物語に深みを持たせます



- **使用ツール**: Google AI Studio
- **役割**: テキストのセリフやナレーションを自然な音声に変換
- **ポイント**: 声の高さ、速さ、感情（例：「真剣に」「コミカルに」）を**選択可能**

ステップ5: 音楽・効果音（BGM・SE）

映像に音を加えて、臨場感と雰囲気を演出します

- **使用ツール**: Suno (BGM), ElevenLabs (効果音)
- **役割**: オリジナルBGMや効果音を言葉から生成
- **ポイント**: 「不気味な足音」「金属のぶつかる音」など、**言葉で細かく指示**できる
- BGMと効果音を合わせることで臨場感が大幅にアップ

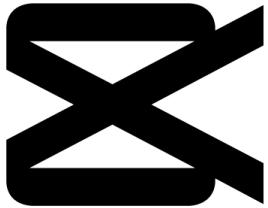




ステップ6: 編集・仕上げ

これまで作成した全ての素材を一つにまとめて完成させます

- **使用ツール**: CapCut
- **役割**: 動画、声、音楽を合成し、1本の映像に仕上げる
- **ポイント**: **直感的**に操作可能
- 字幕やエフェクトを追加することで、さらに完成度を高められる



03

3. AIアニメ制作で役立つ無料ツール一覧

AIアニメ制作 無料ツール一覧

ツール名	カテゴリ	主な役割	商用利用の考え方
ChatGPT	企画・脚本	ストーリー、セリフ作成	原則OK(有料推奨)
Gemini	企画・脚本	ストーリー、セリフ作成	原則OK(有料推奨)
Animon	絵・動画	アニメ絵生成、簡易アニメ化	無料は制限あり
nanobanana	絵	背景・キャラの生成	無料は制限あり
Google AI Studio	声	ナレーション・セリフ作成	規約要確認
ElevenLabs	効果音	足音・環境音・効果音生成	有料推奨
Suno	音楽	BGM・歌生成	有料推奨
CapCut	編集	カット編集、字幕追加	無料OK(一部有料)

商用利用の注意点

AIツールをビジネスで利用する際に気をつけるべきこと

- 無料プランは**「個人利用」**が中心
- YouTube収益化など商用で利用する場合は**有料プランが必須**なことが多い
- 公開前には必ず公式サイトで**利用規約 (TOS) を確認**する習慣を

なぜ無料で使えるの？

無料ツールが提供される3つの主な理由

- **お試し期間**: 有料プランへの**誘導**が目的
- **データ収集**: ユーザーの利用データが**AIの学習**に使われる
- **広告収入**: 一部のツールは広告で収益を得ている
- 無料版は「試運転」と捉え、本格利用なら**有料プランを検討**

04

4. まとめと質疑応答

まとめ & 次のステップ

- **まとめ**

- AIを使えば、専門スキルがなくても企画から完成まで**一人で短編アニメを作れる**

- **次のステップ**

- いきなり全部作ろうとしない

- まずは**1ステップ体験**から始めるのがオススメ

- 例: ChatGPTでセリフを作る、Animonで1枚絵を作る

AIを活用した
ショートストーリー作成フロー

01

1. 導入: AIとショートストーリー制作

なぜAIを使うのか？

- **時間短縮**: アイデアに行き詰まった時、AIが瞬時に大量の選択肢や構成案を提供
- **創造性のブースト**: 自分だけでは思いつかない斬新な組み合わせや展開のヒントを得られる
- **構成力の強化**: AIに「脚本の型」で出力させることで、プロットやシナリオの基本構造を学べる

02

2. 基礎: ChatGPTへの指示文(プロンプト)の基本

良いプロンプトの「4つの要素」

AIに良い結果を出してもらうには、以下の4点を具体的に伝えることが重要

要素	伝えるべきこと	例
P:役割(Persona)	AIに「誰」として振る舞ってほしいか	「あなたはプロのアニメ脚本家です。」
T:課題(Task)	具体的に「何」をしてほしいか	「○○というアイデアを元に30秒の脚本を作成してください。」
C:制約(Constraint)	文字数、時間、トーンなどの「制限」は何か	「セリフは3行まで。感動的なトーンで。」
O:出力形式(Output Format)	最終的に「どの形式」で出力してほしいか	「あらすじ、登場人物、脚本の3つのセクションに分けてMarkdown形式で出力してください。」

【補足】Markdown形式とは？

ChatGPTに「Markdown形式で出力して」と指示するのは、構造化された(見やすい)文章を出力させるためです

見やすさの向上
段落の区切り、太字、箇条書きなどをAIに指示し、画面上で整理された文章を出力させる

構造の統一
脚本、あらすじ等の項目を統一形式で出力させ、情報がどこにあるか一目でわかるようにする

03

3. 例題ワーク:「猫とロボット」の30秒物語

ストーリー制作の流れ

ChatGPTまたはGeminiを開き、プロンプト例を使って制作の流れを体験します

1. **ステップ1**: テーマ決定とアイデア出し
2. **ステップ2**: プロット(あらすじ)の決定
3. **ステップ3**: 30秒脚本の生成

4つの要素を用いて実践

① アイデア出しの指示文

あなたはクリエイティブなショートアニメの企画者です。
「猫」と「ロボット」をテーマにした、斬新で魅力的な**3つの短編アニメのアイデア**を出してください。
各アイデアは**タイトル**と**あらすじ（100字以内）**で構成してください。

ChatGPTの生成例

Geminiの生成例

4つの要素を用いて実践

② 脚本化の指示文

あなたはプロの映像クリエイターです。
上記で決めたアイデア（タイトルを具体的に記載）を基に、
30秒のアニメ脚本を作成してください。

以下の制約を守ってください。
・シーン数は最大5つ
・セリフは最小限にする
・映像と音楽で感情が伝わるように描写を工夫する
出力は**【SCENE 1】**のようにシーン番号と内容を箇条書きで分かりやすく記載してください。

04

4. 実践: オリジナルプロット作成

テーマの例（自由に発想OK）

日常×ファンタジー: 毎朝の通学路に突然現れた「動く信号機」との交流

歴史×未来: 現代の高校生が、江戸時代の刀剣をAIで修復する物語

SF×グルメ: 宇宙で一番美味しいとされる「幻のインスタントラーメン」を探す旅

動物×職業: 都会で働く「リスの宅配便ドライバー」の奮闘記

05

5. まとめ

制作フローの振り返り

- プロンプトの設計(**4要素**)が、アウトプットの質を決定する
- AIはアイデアの幅を広げ、面倒な**フォーマット作成**を一瞬でやってくれる強力なツール
- 最終的に面白いかを判断し、方向性を指示するのは**人間の役割**である

Animonでわかる!
初心者向けAI画像生成

01

1. ツール紹介

今日使う2つのツール

Animon (アニモン)

- 文章（プロンプト）からイラストを生成するツール
- 細かい設定ができないため、**プロンプトの設計**がとても重要

Nano banana (ナノバナナ)

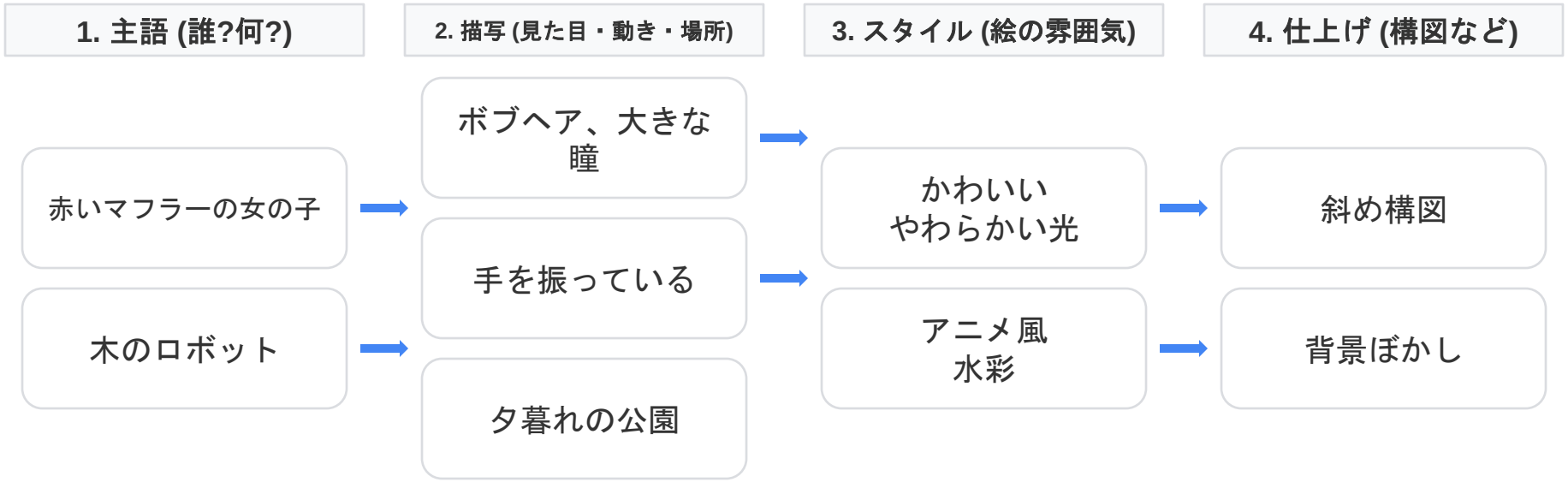
- 同じキャラクターの**別アングル・別ポーズ**を作るのが得意
- Animonで作ったキャラを元に、イラストを増やす流れを後半で紹介

02

2. プロンプトの基本

プロンプトは「4つの箱」で考える

難しく考えず、「箱に言葉を入れるだけ」のシンプルな発想でOK



4箱テンプレートと作成例

【主語】+【描写】+【スタイル】+【仕上げ】の順番で言葉を繋げるだけ

例1：女の子
「赤いマフラーの女の子、ボブヘア・大きな瞳、夕暮れの公園で手を振る、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす」

例2：ロボット
「木でできた小さなロボット、丸い目・ねじの腕、机の上で本を読む、絵本みたいな水彩、淡い色で明るく」

プロンプトの小ワザ

重要語は先に書く

主語 → 描写 → スタイルの順が基本

言い過ぎない

欲張るとAIが混乱し、焦点がぼやける

似た言葉を重ねる

「やさしい光、柔らかい雰囲気」のように、イメージを補強する

ネガティブ表現の回避

「背景はシンプル」「小物は少なめ」のように肯定的な言葉で指示する

そのまま使えるプロンプト例

これをベースに単語を少し変えるだけでも、全く違った雰囲気のイラストが作れます

Q. 冬の女の子 (アニメ風)

A. 「赤いマフラーの女の子、ボブ・大きな瞳、夕暮れの公園で手を振る、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす」

Q. 木のロボット (水彩)

A. 「木でできた小さなロボット、丸い目、机の上で本を読む、絵本みたいな水彩、淡い色で明るく」

Q. スポーツ (元気)

A. 「白いジャージの少年、走る瞬間、笑顔、陸上トラック、ポップで元気なアニメ風、空は晴れ、背景は簡単」

画像比率の特徴

画像比率	主な用途	特徴
9:16 (縦長)	TikTok, Instagramリール, YouTubeショート	**スマートフォンでの視聴**に最適化
16:9 (横長)	YouTube, テレビ	PCやテレビで見る**一般的な動画サイズ**
1:1 (正方形)	Instagramのフィード投稿	SNSのタイムラインで**目を引きやすい**

03

3. よくある詰まりと対処法

生成結果がイメージと違うときは？

困りごと	プロンプトに追加する言葉の例
色がごちゃごちゃになる	「淡い色」「色数少なめ」を追加
小物が多すぎる	「小物は少なめ」「背景は簡単」を追加
顔が崩れてしまう	「正面」「明るい場所」「やわらかい光」を追加
思ったよりリアルな絵になる	「アニメ風」「手描き風」「線をはっきり」を追加

04

4. 著作権と利用の基本

授業で迷わないための3つのルール

1. そっくり真似はしない

有名キャラクターや
特定の作家の絵柄を
「そっくりにして」と
指定しない

2. 実在の人の顔は慎重に

本人の合意がない限り、
写真から生成したり、
公開したりしない

3. ツールの規約を確認する

商用利用の可否や
クレジット表記の必要性は、
ツールごとに異なる

学校内で安心して使うために

- 基本は授業内の掲示に限定して使う
- Webサイトなどで公開する場合は、**自分オリジナルの要素**（設定・配色・小物など）を増やす
- 判断に迷ったら公開しない、または先生に相談する

05

5. 実践：キャラのポーズ違いを作る

Nano bananaでキャラクターの統一感を出す

1. **基準画像を1枚決める**: Animonで生成した中で、**いちばんイメージに近い1枚**を選ぶ

2. **Nano bananaにアップロード**: 基準画像をアップロードして、AIにキャラクターを覚えさせる

3. **ポーズやアングルだけを変えて生成**:「横向き」「走る」「読書」のような**差分だけを指示**して新しい画像を生成する

Nano banana プロンプト集

https://github.com/PicoTrex/Awesome-Nano-Banana-images/blob/main/README_ja.md

付録：そのまま使えるプロンプト例

これをベースに単語を少し変えるだけでも、全く違った雰囲気のイラストが作れます

Q. 冬の女の子 (アニメ風)

A. 「赤いマフラーの女の子、ボブ・大きな瞳、夕暮れの公園で手を振る、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす」

Q. 木のロボット (水彩)

A. 「木でできた小さなロボット、丸い目、机の上で本を読む、絵本みたいな水彩、淡い色で明るく」

Q. スポーツ (元気)

A. 「白いジャージの少年、走る瞬間、笑顔、陸上トラック、ポップで元気なアニメ風、空は晴れ、背景は簡単」

付録：そのまま使えるプロンプト例

Q. 教室のシーン (落ち着き)

A. 「黒髪の学生/窓際でノートに書く、静かな教室、落ち着いた色の手描き風、やわらかな日差し」

皆さんが今やるべき行程

1. 60秒～90秒のAIアニメ制作

2. 前回の授業でAIに脚本を考えてもらったので、
   その脚本をアニメ化するための画像生成作業

3. **Animonが生成できる動画の秒数は5秒**のため、
   60秒の動画なら**最低12枚**の画像が必要

4. 1枚にあまり時間を掛けずにサクサク進み、時間が余ったらこだわると良い

5. 動画生成は時間が掛かる（**大体3分**）ので、
   画像を優先的に生成する

あらすじから
“自分のキャラ&背景”を作るワーク

今日のゴール

- **ゴール1**: **自分のキャラクター画像**を作る
- **ゴール2**: **背景画像**を作る
- **ゴール3**: 使ったプロンプトを整えて**メモする**

01

1. 導入ミニ講義

プロンプトはAIへの「注文書」

良い注文と悪い注文の例

- **良い注文**: **誰を**/**どんな見た目で**/**どんな雰囲気で**/**どう撮るか**を具体的に伝える
- **NG例**: 「カッコいいキャラ」 → ふわっとしすぎていてAIが困ってしまう

サクッとわかる“部品”表（覚えやすい順）

プロンプトを構成する基本的な要素です

1. 主役
(例: 12歳の発明好きな少女)

2. 見た目
(髪型・服・色・小物)

3. 表情&ポーズ
(笑顔、ガッツポーズ)

4. 雰囲気
(やさしい/ダーク)

5. 画づくり
(上半身アップ/全身)

6. 画材・質感
(水彩、アニメ風)

02

2. 準備運動

あらすじから「材料」を抜き出す

前日のあらすじを読みながら、下の項目を考えてみましょう

キャラクター用の材料	背景用の材料
• 年代・性格	• 場所（室内？街？自然？）
• 目立つ特徴（髪・服・小物）	• 時間帯（朝・昼・夜）
• 口ぐせ / 行動のクセ	• 雰囲気（明るい・不気味）
• 物語での役割	• キーアイテム（看板, 塔など）

03

3. キャラを作る

キャラ用プロンプトのテンプレート

まずはこの順番で、材料を繋げてみましょう

> 【主役】、【見た目の特徴】、
> 【表情とポーズ】、【画づくり】、【雰囲気】、
> 【画材や質感】
>
> — 例: 12歳の発明が好きな少女、短めの黒髪でゴーグル、
> 青いパーカーと工具ベルト、笑顔でガッツポーズ、上半身アップ、
> わくわくした雰囲気、手描きアニメ風

生成例



生成例：プロンプト強化ON



微調整の足し算ワード

生成された画像がイメージと違う時に試してみましょう

色指定
「背景は薄いクリーム色」

カメラ
「少し見上げる」「全身」

光
「やわらかい光」「夕焼けの光」

禁止要素
「メガネは無し」「文字は入れない」

04

4. 背景（舞台）を作る

背景用プロンプトのテンプレート

場所、時間、雰囲気を中心に組み立てます

> 【場所】、【時間帯】、【雰囲気】、
> 【目印の物】、【色のイメージ】、
> 【画材や質感】、【構図】
>
> — 例: 古い路地裏、夕方、少しノスタルジック、提灯と狭い階段、暖色が多め、手描きアニメ風、横長の構図

生成例



生成例：プロンプト強化ON



05

5. キャラと背景（舞台）を組み合わせる

キャラ用プロンプトと背景用プロンプトの合体

“

【主役】、【見た目の特徴】、
【表情とポーズ】、【画づくり】、【場所】、
【時間帯】、【雰囲気】、【目印の物】、
【色のイメージ】、【画材や質感】、【構図】

— 例:　12歳の発明が好きな少女、短めの黒髪でゴーグル、
青いパーカーと工具ベルト、笑顔でガッツポーズ、上半身アップ、
わくわくした雰囲気、手描きアニメ風、古い路地裏、夕方、
少しノスタルジック、提灯と狭い階段、暖色が多め、横長の構図

生成例



生成例：プロンプト強化ON



キャラと合う“世界観”チェック

生成した背景がキャラクターと馴染んでいるか確認しましょう

色
キャラクターの服と背景の色がケンカしていないか

明るさ
キャラクターだけが浮いたり、沈んだりしていないか

時代感
意図しない時代設定のズレがないか（例: SFキャラと江戸時代）

06

6. まとめと応用

失敗しやすい例と対策

思い通りにいかない時は、ここをチェックしましょう

こんな時…	こう直す！
• ぼんやりした結果になる	• **名詞を増やす**（色・物・ポーズ）
• ごちゃごちゃしすぎる	• **要素を減らす**（主役＋1つだけ）
• イメージと違うものになる	• **順番を変える**（主役→見た目→ポーズ）

結果を共有

3人組で成果を見せ合いましょう

1. キャラ1枚+背景1枚を見せ合う
2. 互いに良かった点と改善点をコメント
3. 各自、使ったプロンプトを清書して保存

ルールと配慮

創作活動を楽しむために守ること

- 公序良俗（こうじょりょうぞく）に反する内容は作らない
- 著作権のあるキャラクターをそっくりそのまま再現しない
- 実在の人物を扱う際は、その人を尊重し配慮する

皆さんが今やるべき行程

1. 60秒～90秒のAIアニメ制作

2. 前回の授業でAIに脚本を考えてもらったので、
   その脚本をアニメ化するための画像生成作業

3. **Animonが生成できる動画の秒数は5秒**のため、
   60秒の動画なら**最低12枚**の画像が必要

4. 1枚にあまり時間を掛けずにサクサク進み、時間が余ったらこだわると良い

5. 動画生成は時間が掛かる（**大体3分**）ので、
   画像を優先的に生成する

6. わからないことがあったら聞きに来てください

レベル調整

1. 現段階の自分の画像生成速度や動画生成速度を踏まえ、動画の長さを調整する

    a. ChatGPTやGeminiに考えてもらった脚本の秒数を調整してもらおう

2. 動画の長さ
    a. 90秒：画像18枚
    b. 60秒：画像12枚
    c. 30秒：画像6枚
    d. 20秒：画像4枚（起承転結のみ）

3. 自分に適したコースに変更しよう

静止画を動かす入門: 画像から動画へ

01

1. 授業のゴールと基本

今日できるようになること

この90分で達成する3つの目標

動きのある動画作成
1枚の画像から、**動き付き動画を作れる**ようになる

AIナレーション作成
Google AI Studioを使い、**AIでナレーション音声を作る**手順を理解する

AI効果音作成
ElevenLabsを使い、**場面に合わせた効果音をAIで作る**手順を理解する

02

2. Animonで画像を動画に変換する

Animonの操作手順

ログインから保存までの流れ

1. Animonにログイン
2. 「動画生成」メニューを選択
3. 画像をアップロード
4. スタイルを選択
5. 生成を開始し、完了を待つ
6. プレビューしてMP4形式で保存



押さえておきたいコツ

- **無料枠**: 同時に1本しか生成できず、次の生成は待機状態になる
- **画角**: まずは**16:9 (横長)**が無難 (YouTubeやPC向け)
- **被写体**: ズーム効果を分かりやすくするため、被写体が大きめの写真を選ぶのがおすすめ

まずは画像を生成



女の子、長い髪の毛・大きな瞳、浜辺で歩いている、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす

画像から動画に



夕暮れの海辺を白いワンピースを着たアニメ風の少女が、ゆっくりと歩いている。 髪とドレスはそよ風で揺れ、背景の波が静かに寄せて返す。 カメラは横から少女を追いかけるように移動し、柔らかい光と穏やかな雰囲気を表現。
シネマティックで自然な動き。

まずは画像を生成



女の子、長い髪の毛・大きな瞳、浜辺で走っている、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす

画像から動画に



夕暮れの浜辺を、白いワンピースを着たアニメ風の少女が軽やかに走っている。 髪とドレスは風で大きくはためき、足元の砂浜では小さな水しぶきが舞う。 背景には静かな波とオレンジ色の夕日が映り込み、カメラは横から追いかけるように移動。

応用：まずは画像を生成



女の子、長い髪の毛・大きな瞳、浜辺で真正面を向いている、体全体が写っている、やさしいアニメ風、背景はやわらかくぼかす

応用：中間フレーム生成



夕暮れの浜辺で、白いワンピースのアニメ風の少女が立ち上がり、スーパーマンのように空へ飛び立つ。
髪とドレスは風で大きくなびき、片腕を前に突き出して空を目指す。
カメラは下から見上げるアングルで、海と夕日を背景に少女が上昇していく様子を追う。
英雄的でドラマチック、感動的な雰囲気。

応用：中間フレーム生成



03

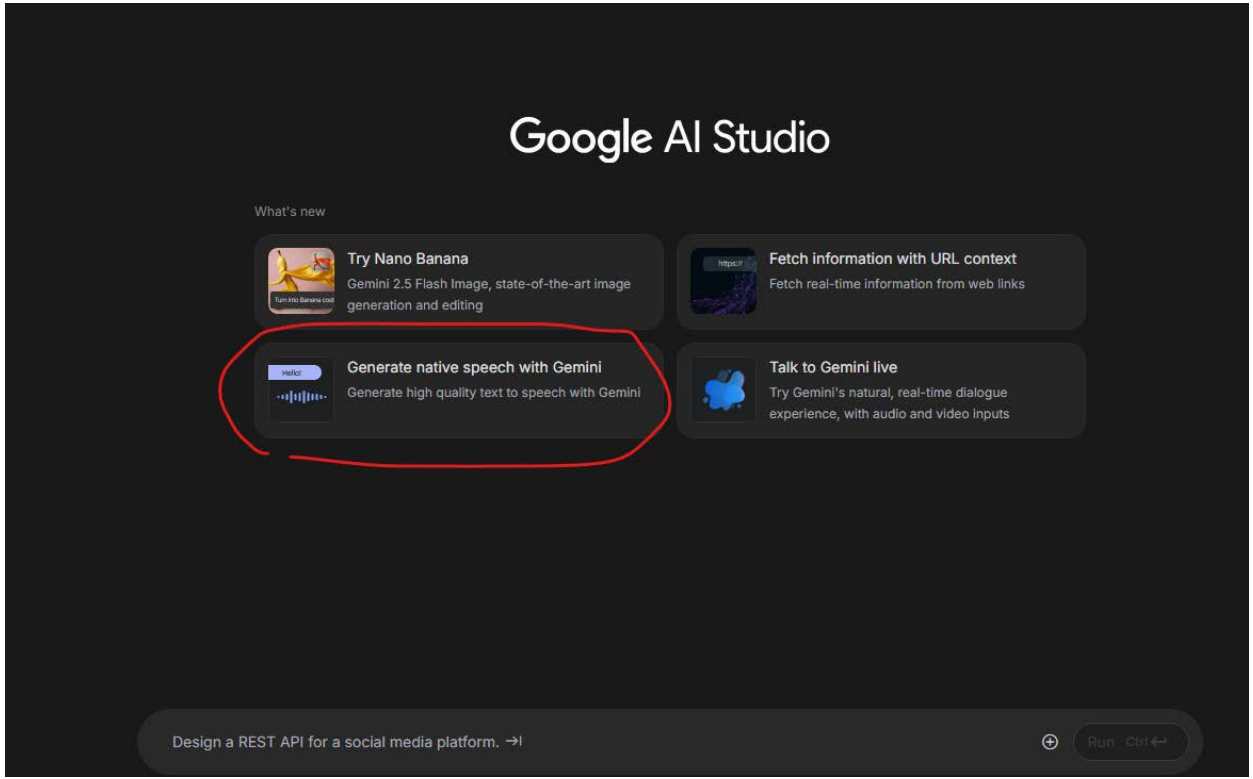
3. AIで音声と効果音を追加する

AI音声・効果音の作成フロー

2つのツールを使った音声生成のプロセス

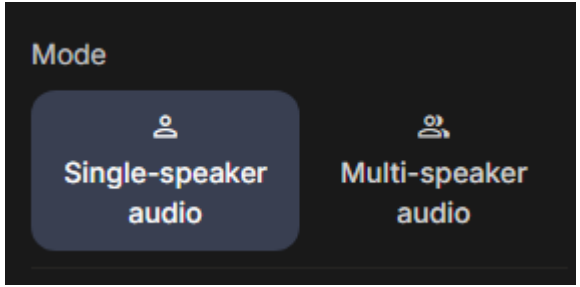
ナレーション (Google AI Studio)	効果音 (ElevenLabs)
台本入力し、音声を生成	欲しい音を英語で入力し、効果音を生成
音声の感情を調整	候補からシンプルな音を選択
完成した音声をデータ化 (WAV)	効果音をデータ化(MP3/WAV)

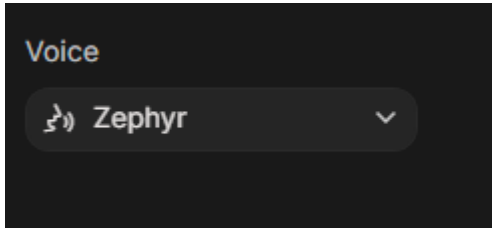
Google AI Studioでの音声生成



Google AI Studioでの音声生成

- **Mode：1人で喋るか2人で喋るかのモード選択**
- **Voice：声の種類を選択できる**





台本を読ませる

台本: 「春の公園を紹介。子どもにもわかる言葉で。明るく、ゆっくり話す前提で。」

文章はGeminiで作成

https://g.co/gemini/share/48b11facba76



台本を読ませる

台本: 「すごく不機嫌な感じで紹介」

文章はGeminiで作成

https://g.co/gemini/share/89fc38c5da59

Elevenlabsでの効果音生成

- https://elevenlabs.io/app/sound-effects

- 英語でプロンプトを入力する

- ChatGPTやGeminiにプロンプトを生成してもらう

本日のまとめ

- 1枚の画像から動画を作成
  Animonを使い、静止画に動きを加えて映像化できた

- AIでナレーションを生成
  Google AI Studioを活用し、声の種類や感情を調整できた

- AIで効果音を追加
  ElevenLabsを使い、シーンに合う効果音を簡単に作れた

皆さんが今やるべき行程

1. 60秒～90秒のAIアニメ制作

2. 前回の授業でAIに脚本を考えてもらったので、
   その脚本をアニメ化するための画像生成作業

3. **Animonが生成できる動画の秒数は5秒**のため、
   60秒の動画なら**最低12枚**の画像が必要

4. 1枚にあまり時間を掛けずにサクサク進み、時間が余ったらこだわると良い

5. 動画生成は時間が掛かる（**大体3分**）ので、
   画像を優先的に生成する

6. わからないことがあったら聞きに来てください

レベル調整

1. 現段階の自分の画像生成速度や動画生成速度を踏まえ、動画の長さを調整する

    a. ChatGPTやGeminiに考えてもらった脚本の秒数を調整してもらおう

2. 動画の長さ
    a. **90秒：画像18枚**
    b. **60秒：画像12枚**
    c. **30秒：画像6枚**
    d. **20秒：画像4枚（起承転結のみ）**

3. 自分に適したコースに変更しよう

映像世界の“心”を操るBGM:
その役割と「Suno AI」での創造術

内容

- BGMが映像に与える影響
- AI作曲ツール「Suno AI」の基本
- Suno AIを使ったBGM作成術
- シーン別BGMの選び方と実践

01

1. BGMが映像に与える影響

BGMの多岐にわたる役割

映像に命を吹き込む「音の力」

感情の増幅と誘導
登場人物の心情を表現し、**観客の感情移入**を促す（喜び、悲しみ、怒り、恐怖など）

雰囲気と世界観の構築
物語の舞台となる**時代や場所、世界観**を音で表現する（歴史、異国、ファンタジーなど）

ストーリーの補完と暗示
セリフや映像だけでは伝えきれない情報を補い、**今後の展開を予感**（ライトモチーフなど）

ライトモチーフとは？

要素	説明	ライトモティーフの使われ方
キャラクターA	普段は優しいが、隠された秘密を持つキャラクター。	**核となるテーマ曲**がある。
BGMの変化	1. 普段の会話シーンでは、テーマが**静かなピアノ**で流れる。	*キャラクターの存在を暗示*
BGMの変化	2. 戦闘シーンでは、同じメロディが**激しいロック**にアレンジされて流れる。	感情や状況の変化を表現
BGMの変化	3. 過去の回想シーンでは、テーマが**悲しい短調**になって流れる。	過去のトラウマや真実を暗示

02

2. AI作曲ツール「Suno AI」の基本

無料で使えるAI作曲ツール「Suno AI」

- テキストで指示（プロンプト）を入力するだけでAIが楽曲を生成
- 無料版では**毎日50クレジット**が付与される
- 楽曲生成1回につき**10クレジット**を消費（1日5回まで）
- クレジットは計画的な利用が重要

Suno AIプロンプトの基本構造

4つの要素を組み合わせて具体的なイメージを伝える

ジャンル (Genre)	雰囲気 (Mood)	楽器 (Instruments)	テンポ (Tempo)
J-POP, Rock, Orchestra, Anime Opening Theme	Happy, Sad, Epic, Mysterious, Calm	Piano, Violin, Synthesizer, Drum & Bass	Fast tempo, Slow tempo, 120 BPM

J-POP, Happy, Synthesizer, Fast tempo



GeminiやChatGPTにプロンプトを作ってもらう

・Gemini

・ChatGPT

BGM作成のポイント

歌詞あり vs 歌詞なし（インスト）

通常の楽曲生成

- プロンプトに応じて歌詞も自動生成
- ChatGPTやGeminiに作詞して貰ったほうがクオリティは高い
- 男性ボーカルと女性ボーカルを選べる

BGM（インスト）生成

- instrumentalに設定すれば生成可能
- 使用したい楽器を指定する

03

3. シーン別BGMの選び方と実践

シーン別Suno AIプロンプト例 (1/2)

物語の代表的なシーンに合わせたBGMの選び方とプロンプト

シーンの種類	ポイント	Suno AI プロンプト例
日常・ほのぼの	穏やかで温かみのあるアコースティックな曲	`anime BGM, Acoustic guitar, Piano, Calm, Relaxing, Heartwarming, instrumental`
戦闘・アクション	力強く疾走感のある、興奮を煽る曲	`Epic action BGM, Intense orchestra, Rock guitar, drums, Fast tempo, Powerful`
感動・泣ける	切なく美しいメロディ。ピアノやストリングス主体	`Emotional sad scene, Beautiful piano solo, Strings, Slow tempo, Heartbreaking melody, instrumental`

シーン別Suno AIプロンプト例 (2/2)

物語の代表的なシーンに合わせたBGMの選び方とプロンプト

シーンの種類	ポイント	Suno AI プロンプト例
サスペンス・緊張	不安感を煽る不協和音や持続音	`Suspense BGM, Tense atmosphere, Dark ambient, Dissonant strings, Scary, Minimal, instrumental`
回想	懐かしさや切なさを感じさせる音色	`Nostalgic flashback, Sentimental, Music box`
ロマンチック	甘く美しいメロディ。優雅なストリングスやピアノ	`Romantic BGM, Sweet piano melody, Lush strings, Emotional, Gentle`

まとめ

・BGMは映像に感情と一貫性を与える重要な要素

・Suno AIを活用すれば、目的や場面に応じた音を簡単に作り出せる

・技術を理解し、意図を持って使うことが表現力を高める第一歩

皆さんが今やるべき行程

1. 60秒～90秒のAIアニメ制作

2. 前回の授業でAIに脚本を考えてもらったので、
   その脚本をアニメ化するための画像生成作業

3. **Animonが生成できる動画の秒数は5秒**のため、
   60秒の動画なら**最低12枚**の画像が必要

4. 1枚にあまり時間を掛けずにサクサク進み、時間が余ったらこだわると良い

5. 動画生成は時間が掛かる（**大体3分**）ので、
   画像を優先的に生成する

6. わからないことがあったら聞きに来てください

レベル調整

1. 現段階の自分の画像生成速度や動画生成速度を踏まえ、動画の長さを調整する

    a. ChatGPTやGeminiに考えてもらった脚本の秒数を調整してもらおう

2. 動画の長さ
   画像1枚につき5秒の動画を生成できるので
    a. **90秒：画像18枚**
    b. **60秒：画像12枚**
    c. **30秒：画像6枚**
    d. **20秒：画像4枚（起承転結のみ）**

3. 自分に適したコースに変更しよう

CapCut 授業用かんたん解説

本日お伝えすること

1. CapCutの全体像
2. まずは覚えたい基本機能
3. 知ってると便利な応用ワザ
4. 初めての動画編集レシピ

01

1. CapCutの全体像

これだけ知ればOK！CapCutの全体像

4つの基本エリアの役割を理解しよう

タイムライン

動画・写真・音・文字といった**材料を並べる作業台**

プレビュー

編集中の**動画がどう見えるか**をチェックする窓

素材箱 (メディア)

取り込んだ動画や写真、音楽を**保管しておく場所**

ツールボタン

カット、文字入れ、速度変更など**様々な道具が揃った道具箱**

02

2. まずは覚えたい基本機能

基本の流れ①：素材の準備とカット

動画編集の最初の3ステップ

1. 素材を入れる (インポート)
使いたい動画、写真、BGMなどをCapCutに**取り込む**ことから始めます

2. 切る・並べる (カット編集)
動画の不要な部分をハサミで切り取り、**見せたい順番に並べ替えます**

3. つなぎ目を滑らかに (トランジション)
動画と動画の間に「ふわっ」と切り替わるような**効果を追加**します。最初は**フェード**がおすすめです（フェードはオーバーレイの項目にある）

基本の流れ②：文字と音で表現力アップ

動画をより魅力的にするテキストとサウンドの活用法

- **文字 (テキスト)**
- タイトルや字幕を画面に表示
- **オートキャプション**で声から自動で字幕生成も可能
- 文字の色や大きさ、フォントは自由自在

- **音 (BGM・音量)**
- BGMを敷くと動画の雰囲気が一気にアップ
- **声は大きく、BGMは小さめ**が調整のコツ
- 「ノイズ除去」で雑音を軽減できる

基本の流れ③：見た目の調整

速度や色味を調整して、視聴者を飽きさせない工夫を



- ⑥ **速さ (スピード)**: 単調なシーンは**倍速**に、面白いシーンは**スロー**にするなど緩急をつける

- ⑦ **見た目 (フィルター・色調整)**: 「フィルター」機能で動画全体の色味を**映画風やレトロ風**に着せ替え。暗い動画を明るくすることも可能

- ⑧ **重ねる・抜く (オーバーレイ・クロマキー)**: 動画の上に別の画像や動画を重ねたり（オーバーレイ）、**緑色の背景を透明にして合成**したりできる（クロマキー）

基本の流れ④：共有のための最終準備

視聴環境に合わせた画面サイズと書き出し設定

画面比率	主な用途	特徴
9:16 (縦長)	TikTok, Instagramリール, YouTubeショート	**スマートフォンでの視聴**に最適化
16:9 (横長)	YouTube, テレビ	PCやテレビで見る **一般的な動画サイズ**
1:1 (正方形)	Instagramのフィード投稿	SNSのタイムラインで **目を引きやすい**

基本の流れ⑤：完成した動画を保存する (書き出し)

編集データを1本の動画ファイルに変換します

- **解像度**: 画面の精細さ。迷ったら**1080p**で十分高画質
- **フレームレート**: 1秒間のコマ数。通常は**30fps**で滑らか (60fpsはより滑らか)
- **推奨設定**: 迷ったら **480p / 30fps** で書き出せば、ほとんどの用途で問題ありません

03

3. 知ってると便利な応用ワザ

ちょっと進んだ便利ワザ

動画のクオリティをさらに高めるテクニック

キーフレーム	スタビライズ	モーショントラッキング
時間経過に合わせて文字やスタンプを**動かす**アニメーション機能	**手ブレ補正**機能。歩きながら撮ったガタガタ動画を滑らかにする	動画内の**動く人や物に**合わせて、文字やスタンプを自動で追従させる

04

4. 初めての動画編集レシピ

超シンプル編集レシピ (初回はこれで十分！)

この8ステップで「見れる動画」が完成します

1. サイズを決める (ショート動画なら「9:16」)
2. 素材を入れる (動画→BGM)
3. 不要な部分を**分割&削除**し、長さを調整
4. つなぎ目に「**トランジション**」を少し入れる
5. フィルターと明るさで見た目を整える
6. 音量バランスを調整 (声100 : BGM20が目安)
7. エクスポート（書き出し）して完成！

残りの時間は動画制作

この6つのステップが全て出来るようになりました

1. 企画 (ストーリー)
2. 絵 (キャラ・背景)
3. 動画 (アニメーション)
4. 声 (セリフ)
5. 音楽・効果音 (BGM/SE)
6. 編集 (仕上げ)

皆さんが今やるべき行程

1. 60秒～90秒のAIアニメ制作

2. 前回の授業でAIに脚本を考えてもらったので、
   その脚本をアニメ化するための画像生成作業

3. **Animonが生成できる動画の秒数は5秒**のため、
   60秒の動画なら**最低12枚**の画像が必要

4. 1枚にあまり時間を掛けずにサクサク進み、時間が余ったらこだわると良い

5. 動画生成は時間が掛かる（**大体3分**）ので、
   画像を優先的に生成する

6. わからないことがあったら聞きに来てください

レベル調整

1. 現段階の自分の画像生成速度や動画生成速度を踏まえ、動画の長さを調整する

    a. ChatGPTやGeminiに考えてもらった脚本の秒数を調整してもらおう

2. 動画の長さ
   画像1枚につき5秒の動画を生成できるので
    a. 90秒：画像18枚
    b. 60秒：画像12枚
    c. 50秒：画像10枚
    d. 40秒：画像8枚
    e. 30秒：画像6枚
    f. 20秒：画像4枚（起承転結のみ）

3. 自分に適したコースに変更しよう

AIは単なる道具ではない
仕事の進め方を変える「パートナー」へ

お伝えすること

1. 思考と文章のAI
2. 視覚表現のAI
3. 音の表現のAI
4. 編集・仕上げのAI
5. 結論

01

1. 思考と文章のAI:
知的労働の「ブレイン」役

ChatGPT / Gemini の活用事例

あらゆる業界で思考を整理し、戦略を立て、業務を効率化する

マーケティング・広告業界

キャッチコピーの大量生成や、**数時間かかる市場リサーチを数分で完了**させるなど、企画の初期段階を大幅に加速

IT・ソフトウェア開発業界

コーディング支援や仕様書の要約・作成により、開発者が**より創造的な部分に集中**できる環境を実現

事務・管理部門

メール作成や議事録作成を自動化し、**月数時間〜十数時間の定型業務を削減**。採用活動も効率化

02

2. 視覚表現のAI: アイデアを「一瞬で可視化」

Animon / NanoBanana の活用事例

デザイナーや企画者のアイデアを高速で具体化し、手戻りを削減

デザイン・イラスト業界
従来は数日かかったコンセプトアートを数時間で何十パターンも生成。
クライアントとの迅速なイメージ共有を可能に

広告・メディア業界
広告バナーの大量生成とABテスト、CMの絵コンテ代替など、
データに基づいたクリエイティブ制作を実現

03

3. 音の表現のAI:
音響制作を「民主化」

Google AI Studio / Suno の活用事例

高品質な音響制作を誰もが手軽に行えるようにし、
コストと時間を大幅に削減

放送・映像業界
ナレーションを高品質なAI音声で内製化し、**コストを数分の一に抑制**。
多言語コンテンツへの展開も容易に

ゲーム・アプリ開発
キャラクターボイスの多様化や、シーンに合わせた**著作権フリーBGMの無限生成**を実現

公共・サービス分野
駅や商業施設の案内放送、コールセンターの初期対応などを自動化し、**多言語対応も容易に実現**

04

4. 編集・仕上げのAI:
「誰でも編集者」の時代へ

CapCut の活用事例

専門知識の壁を取り払い、誰もが質の高い動画コンテンツを発信可能に

広報・マーケティング部門

SNS用のショート動画を専門知識なしで量産可能に
自動字幕起こし機能も

教育・研修分野

研修動画やオンライン教材を**外注せずに内製化**
背景除去などの機能でプロのような仕上がりに

05

結論: AIは仕事を奪うのではなく、人間の能力を「拡張」する

AI時代に求められる「人間ならでは」のスキル

AIに単純作業を任せ、
人間はより高次元でクリエイティブな仕事に集中する

- より**戦略的な判断**

- より深い**共感を生むコミュニケーション**

- AIが生み出したものの価値を見極め、磨き上げる

AI生成動画のコンペ

1. SOZOしよう、自分だけのBRZストーリー。

2. ― 世界最大のAI映画の祭典が日本へ上陸 ―「WORLD A.I. FILM FESTIVAL KYOTO 2026」開催決定

🎬 AIショートアニメ制作・1週間集中カリキュラム（全10コマ）

ゴール：90秒程度のショートアニメを完成させる

カリキュラム一覧

日程	コマ	テーマ	内容	使用ツール
1日目（月曜）	1コマ目（理論・導入）	**全体像とストーリーづくり**	・アニメとは？短編アニメ制作の全体像（企画→絵→動画→声→音楽→編集）その制作フローの概要を説明 ・今週のゴール：90秒程度のショートアニメを完成させる ・無料ツール一覧の紹介（ChatGPT、Animon、Suno、CapCut、Canvaなど）	ChatGPT（無料版）
	2コマ目（ワークショップ）		・ChatGPT（無料版）で「短いストーリー」を生成。各自が興味のあるテーマで短編アニメのあらすじを作成 ・例題ワーク：「猫とロボットが冒険する30秒物語を作ろう」具体的なテーマをいくつか提示し、自由に発想させる	ChatGPT（無料版）

			・学生各自がオリジナルの短いシナリオを作る	
2日目（火曜）	1コマ目（理論・操作説明）	**絵を作る（ビジュアル）**	・AIイラストツールの紹介（Animon、whisk、Nanobanana）	Animon
			・プロンプトの書き方（主語、描写、スタイルなど）の基本	Nanobanana
			・ツールの使い方、生成された画像のバリエーション、著作権について	Google AI Studio
			・キャラクターデザインの考え方（統一感・一貫性をもたせる）	whisk
	2コマ目（ワークショップ）		・前日に作成したあらすじをもとに、キャラクターデザインのプロンプトを作成・実行	同上
			・課題例：「自分のキャラを1体つくる」「背景を1枚つくる」	
			・グループワーク：ストーリー用のビジュアルを3カット揃える	
3日目（水曜）	1コマ目（理論・操作説明）	**動画化＆声**	・画像を動かす！動画生成AIの活用。静止画を動画にする方法（Animon等。無料枠では2個しか作れない）	Animon（動画）

			・簡単なアニメーション手法（フェードイン、パン、ズーム）	ElevenLabs（音声）
			・AI音声合成でキャラクターに命を吹き込む。テキストから音声を生成するツールの使い方	Minimix（音声）
			・声のトーンや話し方の調整、効果音の追加方法	Google AI Studio（音声）
	2コマ目（ワークショップ）		・例題：画像に動きをつけて「10秒のシーン」をつくる	同上
			・各自のストーリー1シーンを動画化＋ナレーション生成	
			・キャラクターのセリフを作成し、音声生成ツールでナレーションやセリフを作る	
			・「こんにちは、僕はAIアニメーションの初心者です」といった簡単なセリフから始め、徐々に複雑なセリフに挑戦	
4日目（木曜）	1コマ目（理論・操作説明）	**音楽と効果音**	・BGMの役割と雰囲気づくり	Suno（音楽・無料枠）
			・Suno AIの基本的な使い方、プロンプトの書き方、ジャンル指定の方法（※最新バージョンは使えない）	ElevenLabs（効果音）

			・効果音の入手方法（効果音ラボ、フリー効果音サイト） ・ElevenLabsのテキストから効果音を生成する機能（v2）の紹介（https://elevenlabs.io/app/sound-effects/） ・物語のシーンに合わせたBGMの選び方	（効果音ラボ等）
	2コマ目（ワークショップ）		・課題例：「楽しい曲」「怖い曲」などテーマ別に作曲 ・自分の動画に音楽・効果音を組み合わせてみる ・作成中のアニメーションの雰囲気に合ったBGMをSuno AIで生成	同上
5日目（金曜）	1コマ目（理論・操作説明）	**総合編集と発表**	・動画編集のまとめ（CapCut） ・これまでに作成した画像、動画、音声、音楽を組み合わせて一本の作品にする方法 ・シーンをつなげて1本の作品にする方法（動画を繋げて、タイトル、セリフ、音楽、BGM、音響など追加）	CapCut

	・カット編集、トランジション、テキストの挿入など、基本的な編集技術を解説	
2コマ目（ワークショップ／完成発表）	・各自、今週の素材を組み合わせて90秒前後のショートアニメを完成。キャラクターの登場、セリフ、BGMの流れが自然になるように編集のコツを指導	CapCut
	・グループ上映会→相互フィードバック。「このキャラクターが良かった」「BGMがシーンに合っていた」など、良かった点を中心に共有	
	・振り返り「AIアニメの可能性と次のステップ」今後の学習や制作のヒント、AIツールの進化について話し合い、締めくくり	

🛠️ 使用する無料ツール一覧

用途	ツール
シナリオ	ChatGPT（無料版）
イラスト	Animon、whisk、Nanobanana、Google AI Studio
動画生成	Animon
動画編集	CapCut（PC/スマホ可）、Canva動画編集機能
音声合成	ElevenLabs、Minimix、Google AI Studio
音楽生成	Suno（無料枠）、フリー音楽サイト

効果音　　ElevenLabs（Sound Effects v2）、効果音ラボ、フリー効果音サイト